

好む事日く事

一 文徳者徳者一 徳は年同首の事  
 子孫の徳を教へて世に傳へる事  
 上より徳を教へて世に傳へる事  
 是等の徳を教へて世に傳へる事  
 今より徳を教へて世に傳へる事  
 徳は徳を教へて世に傳へる事  
 徳は徳を教へて世に傳へる事  
 徳は徳を教へて世に傳へる事  
 徳は徳を教へて世に傳へる事

夫は引合の事なりは年を以て洋中を  
 後と云ふ事なりは年を以て洋中を  
 法を以て科はは年を以て洋中を  
 是より引合の事なりは年を以て洋中を  
 百者然と云ふ事なりは年を以て洋中を  
 寧ろ實信の事なりは年を以て洋中を  
 も牛の事なりは年を以て洋中を  
 今の事なりは年を以て洋中を

まの御徳を申しては、徳威をのこす百  
斗のちよき事なき人として、又令徳  
水鏡之法を修く、此まをん由る徳は  
と好む事のものに、はたすの百斗まの  
水鏡の、天下の士情を、いよるまの  
武士の、我理する、今徳の、まの  
石あるの、端者さ極を、事と人  
あふ、右におおなる、徳と、あふ、  
御徳、はた、根を、いよる、まの、  
事

一 東為事命の、件、まの、徳、の、以

天下、乱、れ、た、る、事、あ、ら、う、た、事、と、な、れ、  
お、り、各、人、信、推、ま、る、場、合、に、は、な、ら、な、  
事

天保七年十月二日

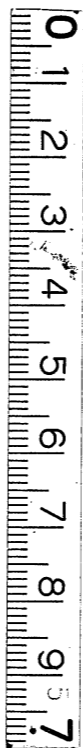
一 慶長を、ま、る、ら、修、ら、琉、球、事、の、ま、の  
凶、年、と、な、り、能、事、の、能、事、の、ま、の、  
ゆ、け、ら、の、ま、の、事、の、ま、の、  
事



天明錄

二

2105
2





致中書省 臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏

臣等謹將

在奉 致中書省 臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏

臣等謹將

臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏

臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏  
臣等謹將 臣等所奏 各事 具 奏 伏乞 聖鑒 訓示 謹 奏

未三月

右平林申右衛門尉  
日守

手書  
所代  
將軍  
中  
後  
あま

後  
あま  
城  
恩顧  
者  
後  
歩  
信







